

各分科会からの意見に対する修正案等

【全分科会共通】

● 基本フレーム

(1) 人口の見通し

意見	修正案等
<p>基本構想（案）で掲げる 2042 年の目標人口（158,000 人）と基本フレームの人口（157,700 人）が異なることに違和感を持つ。</p> <p style="text-align: right;">【第 2 分科会】</p>	<p>基本構想（案）の目標人口を 157,700 人とします。</p>
<p>世帯数の中で世帯構成があると、各世代との関係性が分かる。</p> <p style="text-align: right;">【第 1 分科会】</p>	<p>基本フレーム(1)人口の見通しのうち、②世帯数のグラフ中の 2010 年、2015 年及び 2020 年の世帯数に、国勢調査の結果を基にした世帯構成の区分（「単身世帯」、「核家族世帯（夫婦のみ）」、「核家族世帯（子どもあり）」、「3 世代世帯」、「その他」）を明記します。</p>

(2) 土地利用計画

意見	修正案等
<p>代々続く農地を守ろうと細々と農業を営む農家に対しての支</p>	<p>現状としまして、農業分野に関しては、農家の高齢化・担い</p>

意見	修正案等
<p>援も必要である。</p> <p style="text-align: right;">【第2分科会】</p>	<p>手不足と耕作放棄地の増加が課題となっており、農地の集積・集約化を推進することで農地利用の最適化や規模拡大による農業経営の効率化を進めているところであります。一方で、市内の農業経営の形態は多種多様であることから、農家に対しては、大規模農家に限らない支援も行っているところです。</p> <p>例えば、経営移譲により農業経営を引き継いだ場合についても経営開始資金の対象となったり、農地を相続したが栽培方法がわからないといった方など野菜作りの基礎を学びたい人のために、作付けや施肥などの栽培技術や機械の扱い方などの研修を刈谷生きがい楽農センターにおいて実施しています。</p> <p>ご意見に対しましては、農業を行う多様な担い手を支援するべく基本方針別計画「3-2 農業」の小施策「321 持続可能な農業経営の推進」の②に次の下線部を追記します。</p> <p style="text-align: center;">『<u>農業の将来を担う後継者や新規就農者など多様な担い手の確保に向けた支援体制を構築します。</u>』</p>
<p>学校給食では、30%程度の地元食材を使用しなければならいはずだが、刈谷市ではどの程度使用しているのか。</p> <p style="text-align: right;">【第2分科会】</p>	<p>現在のところ、法令等ではそのような目標値はございませんが、本市における令和2年度の実績は「10品目／199品目」であり、割合としては約5%です。</p>

意見	修正案等
	<p>給食に地場産品を活用するためにはそれ相応の生産量が必要となりますが、本市の農家さんが生産する食品の内、相当量を生産できる品目が10品目であるのが現状です。</p> <p>本市としましては、第2次刈谷市食育基本計画においても地産地消を推進する旨を掲げておりまして、その中でも「給食において地場産物を積極的に使用」する旨を掲載しておりますので、今後、活用可能な食品があれば積極的に活用していきたいと考えています。</p>
<p>土地利用の図面に、市の西部を通る構想道路が「南北軸」と表記されている事に違和感がある。</p> <p style="text-align: center;">【第1分科会】</p>	<p>この図は総合計画と同時期に策定を予定する第4次都市計画マスタープランから引用したものであります。その中では、市内の幹線道路を“軸”として市内の各地域と隣接自治体を結んでいます。その一つに、南北を結ぶ構想の道路として破線を「南北軸」としています。敢えて疑問を持たれるような名称を説明もなく記載する必要はないため、「南北軸」の記載は削除します。</p>

● 重点戦略

重点戦略 1：若い世代や子育て世代への支援

意見	修正案等
<p>KPI の待機児童数が現状値も目標値も 0 となっており、現状を維持するという考えだと思うが、若い世代や子育て世代の支援をさらに充実するのであれば、保育園の数を増やすとか、特色のある保育園を増やすなど、選択肢を増やすことを考えても良いのではないかな。</p> <p style="text-align: right;">【第 3 分科会】</p>	<p>保育ニーズは依然として高いことや今後 0-2 歳児の利用基準を緩和した場合には保育ニーズが増加することが予想されることから、待機児童数ゼロを維持することは容易ではないと考えています。そのため、当該指標は維持したいと考えております。</p>
<p>KPI のうち、「平日の家事、育児、介護に携わっている時間が「1 時間以上」と回答する男性の割合」の目標値が 24.8%になるとどうなるのか、そのために行政がどう関わるのか、不明である。また、10 年後の目標値が低すぎないか。</p> <p>年齢別のクロス集計をして、若い世代を対象とした目標を設定してはどうか。あるいは、現状値なしでもいいので、新しい指標を設定してはどうか。</p> <p style="text-align: right;">【第 1 分科会、第 3 分科会】</p>	<p>KPI を「<u>未就学の子を持ち、平日の家事・育児等</u>介護に携わっている時間が <u>3 時間以上である父親の割合</u>」に修正し、その中間値を 25%、目標値を 50% に設定します。新規の指標となりますので現状値はございません。</p> <p>修正後の目標値を達成できるよう、男性の育児参加や女性の就労継続などに関する普及啓発等を行っていきます。なお、「3 時間」の考え方につきましては、未就学の子を持つ夫婦が 1 日に携わる家事・育児・介護の時間の合計を 6 時間であると想定した上で設定しています。</p>

意見	修正案等
<p>人の生き方を考える人権教育が全ての基本となる。これが、男女共同参画や多文化共生、多様な学びにつながる。人権教育のことを入れた方が良い。</p> <p style="text-align: right;">【第3分科会】</p>	<p>人権尊重の理念は、基本方針4の「多様性が尊重され、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」の考えのもと、基本方針別計画「4-8 共存・協働」や「4-5 障害児・者福祉」などに織り込まれており、各課等の計画・事業レベルで人権について留意しています。</p>
<p>現在の子育て支援策の主要な対象が、幼少期の子どもとなっているが、一番お金のかかる中学生、高校生向けの支援が必要である。高校生までの医療費の無料化は効果がある。メンタルに問題がある場合は何度も通院が必要となるために、受診をためらうケースがある。また、10代の妊娠について医療にかかるのが遅くなるケースがある。こうしたケースの対策にもなる。</p> <p style="text-align: right;">【第3分科会】</p>	<p>医療費の無料化により、今まで病院にかかっていた軽度の症状でも受診する可能性が高くなり、様々な努力により医療費の抑制に取り組んでいる各保険者の負担増が懸念されますので、現在のところ、高校生世代の通院に係る医療費助成の予定はありませんが、引き続き、その必要性について研究してまいります。</p>
<p>KPIとして「企業等のスポーツ選手を招いた取組を行っている小中学校及び特別支援学校の割合」が設定されているが、なぜスポーツ選手なのか。スポーツ選手に限る必要はない。科学者であり、企業経営者であり、第1線で活躍して成果を上げた人など、いろいろな人から生き方を学ぶ方が、子ども達の学びの幅が広がる。</p> <p style="text-align: right;">【第3分科会】</p>	<p>既に全小中学校及び特別支援学校においてスポーツ選手のみでなく、文化・芸術活動をされている方や企業などと連携した学びの機会を提供しているのが現状あり、ご指摘いただいた内容ではKPIとして不相当となります。</p> <p>そこで、これらの取組は児童生徒が「将来の夢」や「目標」を持てるよう実施しているものであることから、KPIを「将来</p>

意見	修正案等
	<p>の夢や目標をもっている児童生徒の割合」に修正し、現状値の77.4%に対し、その中間値を79.7%、目標値を83%に設定します。それに伴いまして、方向性5「教育環境の充実と多様な学びの提供」の主な取組を「<u>企業やスポーツ選手、文化・芸術活動をする方との交流</u>」に修正します。</p>
<p>祖父母と同居・隣居していると、保育園に預かってもらいにくくなるという話を聞いたことがある。待機児童がゼロであるならば、祖父母の就労の有無によらず、柔軟な考え方で、より幅広く保育サービスを提供してはどうか。</p> <p>子どもを社会で育てようという考え方に立つことが重要である。</p> <p style="text-align: center;">【第1分科会】</p>	<p>保育園入所の審査基準に祖父母の同居要件は存在し、審査に影響を及ぼすが、現在よりも柔軟な考え方で、その影響を少なくする方向で検討を進めています。更に、保育サービスを利用するにあたっての保護者の利便性向上についても柔軟な発想をもって取り組みたいと考えています。そこで、方向性4「子どもを育てやすい環境の整備」の説明文及び主な取組を次のとおり修正します。</p> <p>『保護者の就労形態の多様化に対応するため、未就学児の保育環境や放課後児童クラブなどの充実を<u>図るとともに、サービスの提供にあたっては、保護者の利便性向上を図ります。</u>』、主な取組に『<u>ICTを活用した保育環境の整備</u>』を加え、「保育園や幼児園、放課後児童クラブなどの多様な保育サービスの<u>充実</u>」に修正します。</p>

意見	修正案等
<p>刈谷市には教育に熱心な家庭が多い反面、家庭の経済状況と子どもの学力は比例している。質の高い教育に加え、誰も取りこぼさない視点での施策も入れるべきである。</p> <p style="text-align: right;">【第1分科会】</p>	<p>市の考える「質の高い教育」は、「学力レベルを高めること」とは視点がずれるため、その意図を正しく伝えるべく、方向性5の説明文を次のとおり修正します。</p> <p>『また、<u>義務教育においては、関係機関と連携し、全ての子どもに興味・関心を高め、見方や考え方を広げることができる</u>ような質の高い教育を促進するとともに、～』</p>

重点戦略2：魅力ある働く場の創出

意見	修正案等
<p>市内の製造品出荷額等を増やそうとすると、新たに工場が建てられるようにしないといけないが、実際は、市外への転出が多く、新規立地も限られる印象である。</p> <p>KPIとして製造品出荷額等と従業者数を設定しているが、大手企業の動向によって影響される。行政としてどう関わるのか分からない。</p> <p style="text-align: right;">【第2分科会、第3分科会】</p>	<p>ご意見を踏まえ、「製造品出荷額等」に代わるKPIとして、全産業及び個人の生産にかかる状況を総合的に確認することができる「市内総生産」を設定し、現状値の899,615百万円に対し、その中間値を972,214百万円、目標値を1,021,065百万円に設定します。</p> <p>なお、従業者数においても大企業の動向が影響するかと思いますが、方向性1「産業の振興及び担い手の確保」及び方向性2「働きやすい環境の整備」を総合的に進行管理する指標としたく、修正をしていません。</p>

意見	修正案等
	<p>市内総生産については、KPI の変更と併せて用語解説に次のとおり追加します。</p> <p>【市内総生産】</p> <p>市内における 1 年間の経済活動によって、新たに生み出された付加価値の総額のこと。全ての産業や個人の生産にかかる状況を総合的に確認することができ、経済規模などを把握することに適している。</p>
<p>KPI の一つに「市内総生産」を採用するに当たり、唐突な印象を持ってしまうため、基本構想（案）の「刈谷市の現状と特性把握」の「(2)刈谷市の特性」の各種統計データにこれの推移を掲載するとつながりが分かる。</p> <p style="text-align: center;">【第 2 分科会】</p>	<p>ご意見を踏まえ、平成 23 年（2011 年）から直近の令和元年（2019 年）までのデータを基本構想の 12 ページに掲載します。</p>
<p>シルバー人材センターの会員数を KPI に掲げているが、実際にはシルバー人材センターの人手が不足している。ものづくり企業で勤めていた人材の活用など、もっと働ける高齢者を活用すべきである。高度技術への対応、高齢者や女性、障がい者の社会参加の促進に対応するために、どのような雇用の場をつくるのかが問われる。その観点から、KPI としてシルバー人材セ</p>	<p>ご意見にありますとおり、多様な高齢者が活躍する社会をめざし、分野を拡げながら就業の機会を確保していくことが重要であると考えます。</p> <p>そこで、会員数ではなく、就業に関する指標として年間の「シルバー人材センター延べ就労日数」を KPI に掲げ、現状値の 62,060 日に対し、中間値を 63,000 日、目標値を 64,000 日に</p>

意見	修正案等
<p>ンターの会員数が妥当なのか、疑問を感じる。</p> <p style="text-align: center;">【第2分科会、第3分科会】</p>	<p>設定します。</p> <p>また、職場における女性活躍を推進するという観点から、新たに『「生活と仕事の調和」(ライフ・ワーク・バランス)の支援に取り組んでいる事業所の割合』をKPIとして追加し、現状値の24.4%に対し、中間値を31.5%、目標値を36.0%に設定します。</p> <p>なお、一般的にはワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)と呼ばれますが、本市では令和2年度に開催しました日本女性会議をきっかけに、長い人生を視野に入れ、地域や家庭での日々の生活を豊かに送ることを基礎においた考えとして、ワークよりもライフを優先する表現としています。</p> <p>これに伴い、方向性2の説明文及び基本方針別計画「4-8 共存・協働」内の「ワーク・ライフ・バランス」を「ライフ・ワーク・バランス」に修正します。</p>
<p>スタートアップ支援が重要である。</p> <p style="text-align: center;">【第1分科会】</p>	<p>方向性1の主な取組のうち、「創業者に対する支援」を「創業に対する支援」と「スタートアップ企業などとの連携によるイノベーションの創出」に修正するとともに、方向性1の説明文中の2行目を「～市内での起業創業支援、AI～」に修正し</p>

意見	修正案等
	<p>ます。</p> <p>加えて、「3-1 商工業」の「313 持続的な事業経営」②を「<u>中小企業とスタートアップ企業をはじめ分野を超えた企業との交流を促進し、企業自らが新規事業を創出するなど、持続的な経営を行えるよう支援します。</u>」に修正します。</p>
<p>説明文と KPI の関連が分かりにくい。</p> <p style="text-align: right;">【第 2 分科会】</p>	<p>ご意見を踏まえ、説明文を次のとおり修正します。</p> <p>「～。また、市内の産業においては、今後、<u>後継者不足や担い手不足など懸念されることから、事業承継や創業を支援することで魅力ある働く場の創出を進めます。</u></p> <p>自動車関連産業を中心に発展してきた本市の特徴を踏まえつつ、より一層の産業振興を図るとともに、多様な人材の活用支援や<u>ライフ・ワーク・バランスの推進</u>などによる働きやすい環境を整備します。</p> <p>また、方向性 1 の説明文（前段）を次のとおり修正します。</p> <p>「南部の依佐美地区を始めとした新たな工業用地の創出を図るとともに、<u>道路ネットワークの強化のほか、市内での魅力ある店舗の創業やスタートアップ、A I ・ I o T など未来技術を活用した事業の創出に対する支援などの取組</u>を行います。</p>

重点戦略3：にぎわいの創出

意見	修正案等
<p>広報の編集に民間の経験やアイデアを採用すると、親しみやすいものにできるのではないか。</p> <p style="text-align: right;">【第1分科会】</p>	<p>現在、刈谷市の広報広聴課では民間企業出身の職員が市民だよりの作成に携わっています。引き続き、読みやすい紙面の作成に努めていきます。</p>
<p>愛知教育大学との連携を検討できないか。</p> <p style="text-align: right;">【第1分科会】</p>	<p>議会からの意見も踏まえ、方向性1「刈谷駅周辺のにぎわいづくり」の主な取組を次のとおり修正します。</p> <p style="text-align: center;">『<u>道路や広場などの公共空間を活用し、商店街や民間事業者、大学などと連携したにぎわいの創出</u>』</p>

重点戦略4：誰もが活躍できる社会の形成

意見	修正案等
<p>地区社会福祉協議会に対する支援とは、何を支援するか、どのような地区社協にするかということのところまでを含めて記載した方が良い。</p> <p style="text-align: right;">【第3分科会】</p>	<p>地区社会福祉協議会は地域の問題を解決するために住民同士が相互に助け合い、支え合う活動をする地域住民主体の活動組織の集合体で、市内には3つの地区社協があり、独自の活動を行っています。市はこれらの活動の費用を助成するほか、職員が活動のアイデアに対して提案や助言するなど、人的な支援も総合的に行っています。地区社協の独立性を保ちつつ適切な支援を行うためにも現在の表記とさせていただきます。</p>

意見	修正案等
<p>様々な課題を持っている人がいて、地域の様々な福祉資源を有効に活用して安心して暮らせる地域社会をつくる必要がある。その観点から、方向性1の主な取組が医療、介護に偏りすぎている。</p> <p style="text-align: center;">【第3分科会】</p>	<p>方向性1で掲げる「市民一人ひとりが支え合う地域共生社会の形成」を実現するためには地区社教の取組が適しています。</p> <p>一方で、主な取組が医療と介護に偏っているため、主な取組を次のとおり削除及び追記します。</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療、介護を一体的に提供できる体制の構築 ・地域包括支援センターの機能強化 ・多職種協働による地域課題の共有と自立支援 </div>
<p>孤立している高齢者が増えている。こうした人は他の人と会話したいというニーズを持っているので、地域の中で活動できるようにすることが重要である。地域に溶け込んで活動できるようにするという文書を入れたらどうか。</p> <p style="text-align: center;">【第3分科会】</p>	<p>方向性2「生きがいを持ち健康に暮らせる環境づくり」の説明文の後段を次のとおり修正します。</p> <p>『また、健康づくりや生涯スポーツの活動を通じて、<u>地域に溶け込み</u>、いつもまでも元気に暮らせる環境づくりを支援します。』</p>
<p>自治会の役割は大きいですが、自治会も余裕が無くなっており十分な活動ができなくなっている。自治会の活動支援を施策に入れてほしい。</p> <p>地域の組織に加入することがお互いのメリットとなり、それが自分のメリットになるということを理解してもらうことが必要である。自主防災会は、みんなで守ることが自分を守るこ</p>	<p>方向性3「市民活動の推進」で掲げる主な取組の一部を次のとおり修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動や地域活動の活性化支援 ・自治会や公民館などの<u>地域活動</u>の活性化支援

意見	修正案等
<p>とつながるということで加入を呼び掛けている。</p> <p style="text-align: right;">【第3分科会】</p>	
<p>リカレント教育の仕組みが重要である。</p> <p style="text-align: right;">【第1分科会】</p>	<p>方向性2「生きがいを持ち健康に暮らせる環境づくり」の説明文の前段及び主な取組を次のとおり修正します。</p> <p><u>『歴史・文化、健康づくりなど、興味に合わせた各種イベントや講座を開催するとともに、ライフステージに応じた多様な学び・体験の機会を提供します。』</u>と修正し、主な取組に『<u>リカレント教育の推進</u>』を加えます。</p> <p>リカレント教育は「いつでも学び直しができるシステム」という意味があり、その目的としては、産業振興を支える人材育成という側面と人生100年時代を見据えた生涯に渡る学習支援という側面があると考えています。後者の生涯学習を支える側面としては、国の教育振興基本計画に「生涯学び、活躍できる環境を整える」基本方針の下、「職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進」の施策があり、本市としては、この観点からリカレント教育を推進していく考えです。また、ひいてはその施策が結果的には産業振興に結び付くものとは考えています。</p>

意見	修正案等
<p>方向性 2 にある文化に触れる機会として、高齢者の就労が進み、ゆとりがなくなっているので、老後に楽しめる環境を提供できるようにすることが重要である。</p> <p style="text-align: right;">【第 1 分科会】</p>	<p>方向性 2 の説明文中のとおり、興味に合わせた学びや体験の機会を提供していきます。</p>

【全分科会共通】

●基本方針別計画

意見	修正案等
<p>施策の背景でそれぞれ現状と課題の内容が重複していて、課題から刈谷市の状況が分かりにくい。刈谷市がその分野において、できているのかどうか、どういう課題があるのかを書いてほしい。また、課題に手法・手段が入っているように感じます。例えば、「1-3 公園緑地・緑化」にある、「民間のノウハウを活用し」というのは手段ではないか。</p> <p style="text-align: right;">【第1分科会】</p>	<p>ご意見を踏まえ、全ての基本方針別計画を見直しました結果、次のとおり修正します。</p> <p>【1-1 市街地・住環境】</p> <p>4つ目の課題「空家等の発生抑制や適切な管理、利活用の促進などの取組が求められます。」を「<u>良好な生活環境の保全が求められます。</u>」に修正します。</p> <p>【1-2 道路・交通】</p> <p>2つ目の現状を「<u>将来的な人口構造の変化への対応や子育て世代の定住促進、にぎわいの創出、都市機能の集約など、まちづくりと連携した交通施策を進めています。</u>」に、課題を「<u>市民が多様な移動手段を選択できるように、鉄道やバスなどの公共交通の利便性や安全性の向上、快適に移動できる道路空間の整備が求められます。</u>」に修正します。</p> <p>3つ目の現状として、「<u>健康意識や環境意識の高まりから、誰もが徒歩や自転車で安全に移動できる空間の重要性が高まっています。</u>」を追加し、それに対する課題を「<u>歩行者の多い刈</u></p>

意見	修正案等
	<p>谷駅周辺の更なるバリアフリー化や自転車ネットワークの整備を推進する必要があります。」とします。</p> <p>4つ目の現状を「<u>通過交通や市の中心部に向けて発生・集中する交通により、慢性的な交通渋滞が発生しています。</u>」に、課題を「<u>交通渋滞が市民生活、産業活動・地域活性化など様々な方面に影響するため、渋滞の緩和を計る必要があります。</u>」に修正します。</p> <p>6つ目の現状を「<u>高齢者の外出機会の創出や市民のライフスタイルに応じた誰もが安心安全に移動できる手段として、公共交通への期待が高まっています。</u>」に、課題を「<u>鉄道、バス、タクシーなど、市内全域の公共交通機能の充実、近隣自治体と連携した公共交通体系の構築が求められます。</u>」に修正します。</p> <p>【1-3 公園緑地・緑化】</p> <p>1つ目の現状を「<u>身近に親しめる公園緑地の整備の重要性が高まっています。</u>」に、課題を「<u>本市の魅力向上や子育て・福祉環境の充実など、様々な市の課題に対応した公園整備を進めていく必要があります。</u>」に修正します。</p> <p>2つ目の現状を「東日本大震災を始め災害が多く発生してお</p>

意見	修正案等
	<p>り、防災意識が高まっています。」に、課題を「<u>公園緑地などが有する防災機能の重要性を見直し、災害時における様々な復旧支援活動にいかすことが求められています。</u>」に修正します。</p> <p>3つ目の現状を「<u>新たな生活様式の定着などの社会情勢の変化によりニーズは多様化し、公園の担う役割は変わってきています。</u>」に、課題を「<u>余暇の充実や健康増進など、多世代の多様なニーズに対応するため、公園機能の充実を図っていく必要があります。</u>」に修正します。</p> <p>4つ目の現状を「<u>公園施設の老朽化が進んでいます。</u>」に、課題を「<u>公園施設の維持管理費にかかる経費削減や合理化が求められています。</u>」に修正します。</p> <p>5つ目の現状を「<u>開発などにより、身近な緑が宅地などに変わってきています。</u>」に、課題を「<u>新たな緑の創出が求められています。</u>」に修正します。</p> <p>このほか、2つ目の課題に記載していた内容が課題ではなく、施策の要素を含めていたため、「123 公園の管理・運営」に新たに④「<u>施設の適正な管理と防災・減災にも役立つオープンスペースとしての多面的な活用を推進します。</u>」を追記します。</p>

意見	修正案等
	<p>【1-5 上下水道】</p> <p>1つ目の現状を「<u>水道水の安定供給と公共下水道の整備に対する市民生活における重要度は高くなっています。</u>」に修正します。</p> <p>【2-1 学校教育】</p> <p>1つ目の現状を「これからの社会は、予測不能な激しい変化がこれまで以上に増える<u>可能性があります。</u>」に修正します。</p> <p>4つ目の課題を「<u>施設の安全性を確保するとともに、増加する維持管理費に対する経費の削減及び平準化が求められています。</u>」に修正します。</p> <p>【2-3 スポーツ】</p> <p>3つ目の現状を「<u>各種体育施設や生涯学習施設など多くのスポーツ施設が利用されている一方で、成人のスポーツ実施率が伸び悩んでいます。</u>」に修正します。</p> <p>【3-3 農業】</p> <p>5つ目の現状を「元気な高齢者が増加するとともに、余暇の増大や価値観の多様化が<u>進んでいます。</u>」に、課題を「<u>生きがいを感じることができる多様な活動の場のひとつとして、誰も</u></p>

意見	修正案等
	<p>が農業に親しむライフスタイルを支援することが、求められています。」に修正します。</p> <p>【4-2 健康づくり】</p> <p>3つ目の現状を「<u>予防接種法に基づいて定期予防接種を実施しています。</u>」に、課題を「<u>予防接種に関する正しい知識を周知し、できるだけ多くの人に適切な時期に予防接種を受けてもらうよう勧奨する必要があります。</u>」に修正します。</p> <p>【4-5 障害児・者福祉】</p> <p>4つ目の現状を「<u>障害のある人の就労ニーズが多様化しています。</u>」に修正します。</p> <p>【4-6 防災】</p> <p>1つ目の現状を「<u>東日本大震災や熊本地震などの震災、～</u>」に、課題を「<u>災害発生時に高まった防災意識の風化を防ぎ、その高まりを継続することが求められます。</u>」に修正します。</p> <p>3つ目の現状を「<u>東日本大震災や熊本地震などで、行政の機能停止や避難所の運営において支障をきたしています。</u>」に、課題を「<u>過去の災害を教訓とした防災体制の充実が求められます。</u>」に修正します。</p>

意見	修正案等
	<p>4つ目の現状を「過去の大規模災害では、<u>道路や橋りょうなどのインフラ</u>に大きな被害が発生し、その後の<u>まちの復旧作業</u>にも支障をきたしています。」に、課題を「災害に強い道路や橋りょうなどのハード整備が求められます。」に修正します。</p> <p>【4-7 生活安全】</p> <p>1つ目の現状を「<u>犯罪発生件数は減少傾向ですが、侵入盗や自動車等、特殊詐欺など、犯罪がより巧妙化しています。</u>」に、課題を「犯罪抑止につながる環境を整備するほか、市民の防犯意識を高める必要があります。」に修正します。</p> <p>2つ目の現状を「<u>交通事故死傷者数は減少傾向ですが、人口1,000人あたりの人身事故件数は、愛知県の平均値よりも高くなっています。</u>」に、課題を「<u>道路の交通安全環境を整備する</u>ほか、市民の交通安全意識を高める必要があります。」に修正します。</p> <p>3つ目の課題を「<u>高齢者が交通事故の被害者にも加害者にもならないための取組が求められています。</u>」に修正します。</p> <p>このほか、3つ目の課題を踏まえて、「472 交通安全対策の推進」③を「<u>高齢者を対象とした交通安全教室において、加齢に</u></p>

意見	修正案等
	<p><u>伴う身体機能の変化が、歩行者又は運転者としての交通行動に及ぼす影響を認識する機会を設けます。また、運転に不安のある高齢者に対する支援に努めます。」</u>に修正します。</p> <p>4つ目の現状を「～、<u>市民相談</u>の内容が複雑・多様化しています。」に修正します。</p> <p>5つ目の現状を「～、様々な消費者トラブルや悪質商法、詐欺被害などが<u>増加</u>しています。」に修正します。</p> <p>【4-8 共存・協働】</p> <p>1つ目の課題を「男女共同参画の理念を全ての人が理解し、市民、事業者、教育関係者など様々な主体や行政が協働して取り組んでいくことが求められます。」に修正します。</p> <p>2つ目の課題を「<u>外国人と地域住民が互いの文化的違いを認め合い、円滑な相互理解を図ることが望まれます。日本語を理解できない外国籍の子どもたちが学校生活になじむことができるような支援体制が求められます。」</u>に修正します。</p> <p>3つ目の現状を「地域組織に求められる役割が多様化する一方、自治会の加入率の低下や<u>定年年齢の引上げ</u>などにより役員の担い手の確保が難しくなっています。」に修正します。</p>

意見	修正案等
	4つ目の現状を「まちづくりを担う各主体間における連携や協働を進めるための人材の活用が十分ではありません。」に修正します。

【第1分科会（都市基盤・教育文化）】

● 1-1 市街地・住環境

意見	修正案等
<p>2つ目の現状として、「スマートインターチェンジの開通を契機に周辺地域の開発ポテンシャルが高まることが予想されます。」とあり、その課題として「周辺環境に配慮した、計画的な土地利用の誘導が求められます。」とあるが、計画的な土地利用というものが、拡大市街地なのか、既存の市街地のことを言っているのか、どういったものをイメージしているのか、土地利用計画図との整合性が分からない。</p>	<p>現在、策定中の第4次都市計画マスタープランでは、刈谷スマートインターチェンジ周辺を、刈谷ハイウェイオアシスをはじめとする様々な地域資源を活用し、多くの人が訪れ、多様な交流が育まれる拠点として位置付けることを予定しています。</p> <p>刈谷スマートインターチェンジ周辺における計画的な土地利用とは、総合計画で掲げる将来都市像の実現に向けた将来都市構造の下、無秩序な市街地開発を防ぎながら、市内外から多くの人が訪れる交流の拠点としてふさわしい土地利用を誘導することをイメージしております。</p>
<p>「113 住環境の充実」①に「安全性」を追記した方が良い。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「市営住宅の建替えや改修などを進め、<u>建物の安全性</u>や入居者の居住性を高めます」に修正します。</p>

意見	修正案等
<p>都市マスで話すべきであるが、立地適正化計画の中では、コンパクトシティ+ネットワークのまちづくりが謳われている。これは本来、公共交通沿線へ居住を誘導して、負のスパイラルで減便が続く公共交通の利便性を高めたり、持続可能なものにする観点が入るべきであるが、現行の立地適正化計画ではその観点が入っていないと読み取れた。一方で、都市交通戦略では、南北線のバス路線の運行間隔を終日 30 分以内を確保すると太字で強調されている。現状、南北線に相当する路線は、刈谷駅以南は開設すらされていない。愛教大・刈谷駅間の利用者が伸び悩み、今では平日愛教大行き 7 便/日、刈谷駅行き 8 便/日の状況である。少しでも利便性の高いエリアを創出するのであれば、南北線沿線のように、公共交通を維持するための居住誘導を行うという観点が入っていない。</p>	<p>土地利用計画では、集約・連携型の都市構造の構築を進めることとしており、「1-1 市街地・住環境」の「111 計画的な土地利用」①において、鉄道駅やバス停などの交通結節点を中心とする地域は、その地域の特性や規模に応じた機能の維持・集積を図ることとしています。こうした地域に都市機能を集約することで居住誘導を図り、これらを相互に結びつけ持続可能な都市構造を構築することは、コンパクトシティ+ネットワークの考え方であり、公共交通の維持という観点もこれに含まれております。</p>

● 1-2 道路・交通

意見	修正案等
<p>将来都市像で「人が輝く 安心快適な産業文化都市」と掲げるのであれば、「めざす姿」に「快適」という文言を追加した</p>	<p>ご意見を踏まえ、めざす姿の一つ目を「市民が多様な移動手段を選択でき、誰もが安心安全かつ<u>快適</u>に移動できる交通移動</p>

意見	修正案等
方が良い。	環境が形成されています。」に修正します。
産業は刈谷市の強みである。スマートシティ研究会の中でも議論されていて、今後様々な先進技術の実装が期待されるので、「めざす姿」の中に「先進的」という文言が追加されるとより良い。	「めざす姿」を実現する上で121③にあるような「先進的」な「手法」は想定しております。「先進的」という言葉は取組や手法を修飾する表現であり、「めざす姿」は取組や手法導入後のアウトカムの姿であるため、「めざす姿」において「先進的」という修飾はいたしません。
「121 総合交通体系の構築」②の中に、自転車の交通ルールの周知徹底、教育などのソフト面の内容も含まれると良い。	交通ルール等にかかる対応は、「472 交通安全対策の推進」①にて記載しています。なお、交通安全は歩行者やドライバーにもかかる内容であるため、自転車のみを頭出しはしません。
「124 公共交通の利便性向上」①の中で、市内の交通は「かりまる」に限定するのではなく、名鉄バスやデマンド交通などを含めて望ましい公共交通体系を構築することが必要であるので、「かりまる」や「バス」に限定する表記は改めた方が良い。	ご意見を踏まえ、124②を削除し、124③を124②に改め、124①を次のとおり修正します。 「刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」の充実や近隣自治体との連携強化、民間活力を活用した公共交通機能の導入や支援を推進し、地域の特性に応じた利便性の高い公共交通ネットワークを形成します。」
要望のような話になるが、スマートシティ研究会の資料を見ると、プロジェクトの中で、「企業社員送迎バスとの共同運行と新技術の技術検証」を掲げ、トヨタグループ各社の送迎バス	ご意見としていただきました手法も含め、スマートシティ研究会にて、その実現可能性を研究してまいります。なお、企業の送迎バスは、社員の通勤手段として自家用車から公共交通へ

意見	修正案等
<p>の共同運行を検討するとのことである。企業の送迎バスと市民が乗車する一般的なバスの発展的な統合は望ましい姿だと考えるので、ぜひ検討していただきたい。</p>	<p>の転換に大きく寄与していると認識していますので、今後も121①の内容に基づき、総合交通体系の構築の一環として、企業バスの連絡調整に取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>一つ目のKPI「日常（通勤・通学や買物など）の移動手段として自転車や公共交通機関の利用を心がけている市民の割合」の中で、「利用に心がけている」といった気持ちの面が指標として設定されている。できれば、「交通分担率」のような、実際の「行動」に則した指標の方が良いと考える。第7次総合計画では「自動車以外の交通分担率」も指標として設定されていた。</p>	<p>ご指摘の指標は過年度から調査しているものであり、行動変容が生まれる兆候や傾向をつかむことができるものであることから、今後も継続して設定していきたいと考えております。</p> <p>一方で、ご意見いただいた交通分担率についても重要なデータであると考えておりますので、「刈谷市都市交通戦略」を改訂する際に改めて調査をさせていただく予定です。</p>

● 1-4 治水・水辺環境

意見	修正案等
<p>「141 河川施設等の改修」⑤に、「災害時にリアルタイムで現状が把握できるように、～」とあるが、データや映像を市民にもリアルタイムで提供されるような環境をつくってほしい。</p>	<p>現在、市内を流れる主要な河川には、ライブカメラが設置されており、県や(株)キャッチネットワークのホームページでリアルタイムに河川の状況を確認することができます。また、水位の情報については、国や県のホームページで確認することがで</p>

意見	修正案等
	<p>きますので、引き続き、これらの防災情報の閲覧方法等について市民の皆様に周知を図ってまいります。</p>

● 2-1 学校教育

意見	修正案等
<p>通学路における安全対策に関する取組を追記した方が良い。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「215 安心安全で地域に開かれた学校づくり」②の説明文を「<u>不審者の侵入対策、通学路における交通安全対策、防犯対策を推進します。</u>」に修正します。</p>

● 2-2 生涯学習・青少年教育

意見	修正案等
<p>用語解説に「生涯学習」の定義を追加すると共に、「リカレント教育」を追加し、これらの違いを説明した方が良い。</p>	<p>ご意見を踏まえ、用語解説に次のとおり追記します。</p> <p>【生涯学習】</p> <p>人々が生涯にわたって、主体的に継続して行う学習のこと。主なものとして、文化活動、スポーツ、レクリエーション活動、ボランティア、企業内教育、趣味などがあり、仕事に無関係なことや「生きがい」に通じる内容も対象に含まれる。</p> <p>【リカレント教育】</p>

意見	修正案等
	<p>学校教育から一旦離れて社会人となった後に、個人が必要とするタイミングで受ける教育のこと。「社会人の学び直し」とも呼ばれ、広義には生涯学習の一環であると言えるが、主に仕事にいかすために学ぶという点に特徴がある。</p>
<p>施策の背景の4つ目の現状の後段の文章では、ひきこもりやニート、不登校の問題が子ども側にあるように受け取れてしまう。何を指摘したいのかを明確にする方が良い。</p> <p style="text-align: right;">【第3分科会】</p>	<p>ご意見や議会からの意見を踏まえ、当該箇所は、現状の内容を次のとおり分割するとともに、ひきこもりに係る2つ目の現状を次のとおり分割・修正し、それぞれに課題を記します。</p> <p>「スマートフォンやタブレット利用者が低年齢化して<u>います</u>。」とし、これに対する課題を「<u>ネット依存などの新たな課題が生じており、青少年を健全に育成できる環境づくりが求められています</u>。」とします。</p> <p>「社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者が<u>増加しています</u>。」とし、これに対する課題を「<u>青少年と関係者が気軽に相談のできる体制づくりが求められます</u>。」とします。</p>
<p>「222 学習活動の支援」④の中で、「多くの学習施設」と出てくるが、何を指すのか。生涯学習施設のことか。</p>	<p>222④は「生涯学習施設」に限定した意図はございません。図書館や歴史博物館などの学習ができる環境を備えた施設全般を含めて環境整備の重要性を認識しています。</p>

● 2-3 スポーツ

意見	修正案等
<p>「めざす姿」の文章が「する」スポーツの観点にしか読み取れない。スポマスでは「する」「みる」「ささえる」ことがスポーツと示されているので、「めざす姿」で全側面を踏まえて記載するべきである。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「めざす姿」の説明文を「スポーツに親しむ環境や体制、施設が整っており、～、目的に応じて気軽にスポーツを楽しんでいます。」に修正します。</p>
<p>5つ目の現状に関連して、ホームタウンパートナーの一つであるシーホース三河が今後、安城市にアリーナを設けてしまう。このことは、刈谷市のスポーツツーリズムの観点からも打撃は大きいと感じている。こうした市外への流出を防ぐためにも、アリーナを新たに建設するという訳ではないが、広い意味で課題の中に「環境整備」という文言が入っても良いのではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、課題を「トップアスリートとふれあう機会の創出や環境整備、スポーツを通じた～」に修正します。</p>
<p>東京五輪で話題を呼んだような、若い世代の方が行うスポーツ（New スポーツ）に関して何か付け加えることがないのか。市民のニーズ、とりわけ若い世代のニーズを汲み上げて検討してはどうかと感じています。</p>	<p>最近ではスケートボードやブレイクダンス、パルクールなど多くの種目がスポーツの分野にカテゴライズされるようになってまいりました。その他にもスラックラインやスポーツチャンバラ、ペタンクなど、ニュースポーツに該当するのではというものが40種類ほどあります。そういった状況にありますので、市民ニーズを踏まえながら種目ごとに適時適切な判断を行</p>

意見	修正案等
	っていくのが適当と考えています。

● 2-4 歴史・文化・観光交流

意見	修正案等
<p>刈谷市は熱心に取り組んでいる分野だとは思いますが、現状、上手くいっていない印象を持っている。市内には、(株)デンソーのデンソーギャラリーや(株)アイシンのアイシンコムセンターのほか、最近ではトヨタ紡織(株)の歴史未来館といった企業博物館が存在する。特に、愛知製鋼(株)のトヨタ創業期試作工場が国の登録有形文化財に指定されており、刈谷市にとっても重要な観光資源だと感じている。これらは一般公開されている施設であり、観光協会も一定のPRを行っているが、残念ながら、全ての施設が土日休館である。市外の方はおろか、市民ですら訪問が難しい施設となっている。他自治体に対して差別化できる資源は自動車関連産業をはじめ、企業スポーツや依佐美送信所だと思う。民間所有を含む資源・強みを活かす施策を実施してほしい。市として所有しているものではなくても、連携して、土日にも開館してもらい、市民の方などに訪れてもらえるといい</p>	<p>ご意見のとおり、トヨタ系企業の本社が多く集積することは本市の強みであり、こうした企業の歴史や最新技術にふれることのできる場合は、他自治体にはない貴重な地域資源と捉えています。</p> <p>こうした本市の特色を踏まえ、企業との連携を含めた検討は「244 観光交流の推進」③の中に包含しておりますので、ご意見を踏まえて、「幅広く地域資源を有効活用した誘客促進を図り、<u>広域連携</u>などにより交流人口の拡大に努めます。」に修正します。</p>

意見	修正案等
<p>まちになるのではないかと考える。</p>	
<p>「242 文化財の保護・伝承」①の中で、「歴史博物館を中心に文化財の保存・管理を行うとともに、その調査研究を進めます。」とあるが、「調査研究」ではなく、一層の情報発信を強化すべきである。市民とのつながりがなかったら歴史博物館が忘れ去られてしまう。これは、図書館でも言えることだと思う。</p> <p>「自らが情報発信していく」というような文言があると良い。</p> <p>「243 歴史文化の普及・啓発・活用」③でPRについてふれているが、ブース出展だけでは十分ではない。若い人、高齢の人、それぞれの市民のニーズに合った情報発信に心がけなければならない。</p> <p>マンガのように、観光はちょっとしたきっかけで爆発する。多様なメディアと連携して情報発信を仕掛けていくことも良い。メディアを活用して、広く、そして多く情報を発信することで、刈谷の意外な魅力が多くの方に知られるのではないか。</p>	<p>調査研究結果の情報発信の方法の一つとして企画展や講座を開催しておりますので、「243 歴史文化の普及・啓発・活用」①を「多くの市民に郷土の歴史や文化に親しんでもらうため、<u>企画展などを通じて、歴史文化の普及・啓発活動を展開します。</u>」に修正します。</p> <p>また、243③に記載する方法はあくまで一つの例ですので、PR方法については、当該施策のほか、全ての基本方針別計画に共通するマネジメント方針の(4)「戦略的な情報の発信・収集」に基づき、多様なメディアの活用も含めて、市民の皆様が知りたい情報を効果的かつ的確に発信してまいります。</p>

【第2分科会（産業環境・マネジメント方針）】

● 3-1 商工業

意見	修正案等
<p>商品を買う人と売る人をつなげることが重要だと思いますが、昔からの商店街を再生させるには時間がかかり、それまでに疲弊してしまうため、ITなどを活用していくことも重要だと思う。</p>	<p>ご意見を踏まえ、312①を、「<u>魅力ある店舗づくりにつなげるため、新商品開発、集客力強化、ICT活用などの経営課題への取組を支援します。</u>」に修正します。</p> <p>また、デジタル化及びデジタル技術の文言は、ICT環境やAI、IoTなども含めた総論的な意味合いで使用しています。</p>
<p>現状、先を見通せるような商店街の姿ではない。特に、コロナの影響によって閉店するところが増え、商店街が形成できない状況に今年度から陥るような感じがしている。個店を強くしてまちを活性化させることが一番である。現在の記載では、既存の商店街を活性化されるような印象を受け、それだと描く姿は違うように思う。</p>	<p>ご意見のとおり、個店を強くしてまちを活性化することは重要でありますので、前述のとおり312①を「<u>魅力ある店舗づくりにつなげるため、新商品開発、集客力強化、ICT活用などの経営課題への取組を支援します。</u>」に修正します。</p> <p>一方で、既存の商店街の現状を踏まえると、その活性化は簡単な課題ではありませんが、312②及び③に記載のとおり取り組んでいきたいと考えております。</p>
<p>スタートアップについても取り組もうとしていますが、市内の人材に残ってもらうだけでなく、外から誘致するという考え方も必要だと思う。</p>	<p>ご意見や議会からの意見を踏まえ、「313 <u>持続的な事業経営</u>」②を次のとおり修正します。</p> <p>「<u>中小企業とスタートアップ企業をはじめ分野を超えた企業との交流を促進し、企業自らが新規事業を創出するなど、持続的な経営を行えるよう支援します。</u>」</p>

意見	修正案等
<p>「311 工業の振興」②で「ものづくり基盤の強化に向けて、次代を担う人材育成」と言うのは容易いけれども、今は、デジタル化に対応した人材の育成が重要なテーマになっていますので、それに関してふれられるように補っていく必要があると思う。加えて、人材育成に関する記載が工業分野にしかないのは違和感がある。</p>	<p>311②を、「<u>ものづくり基盤の強化につながる技術、技能等の習得、デジタル化を含め次代を担う人材の育成を支援します。</u>」に修正します。</p> <p>また、312①の「経営課題」には人材育成も含んでいます。</p>

● 3-3 環境

意見	修正案等
<p>家庭で出る生ごみを自然に返す段ボールコンポストの取組を市からの補助をいただきながら進めています。女性の会の活動も先行きが不透明な部分もありますが、こういった市民の取組をPRしていくこともできるのではないかと。</p>	<p>本市では、「かりや環境学習ガイドブック」の発行を通じて、市民団体や事業者などが実施する環境に関する取組を情報として発信し、これらの活動を支援しています。こうした、市民等の取組に対する支援や紹介につきましては、引き続き、「331 環境意識の向上」①の中で実施してまいります。</p>
<p>施策の背景について、SDGs という言葉が使われていますが、他の分野でも SDGs とかかわるにも関わらず、環境分野だけに記載があることに違和感がある。</p>	<p>ご指摘のとおり、SDGs の達成は環境分野に関わらず、全ての分野を貫くものですので、ご意見を踏まえ、1つ目の現状の説明文を「<u>環境への負荷が少ない都市をめざし、気候変動やごみ問題などに対する取組が進められています。</u>」に修正します。</p>

● マネジメント方針

意見	修正案等
<p>関連する SDGs のゴールとして 12（つくる責任つかう責任）、16（平和と公正をすべての人に）、17（パートナーシップで目標を達成しよう）のマークが記載されているが、全体に共通するマネジメント方針に関わるゴールが 3 つだけということに違和感を持つ。</p>	<p>ご意見を踏まえ、改めて基本方針別計画に関連するゴールを確認し、次のとおり修正します。</p> <p>【1-4 治水・水辺環境】</p> <p>河川は海とつながっており、あらゆる海洋汚染を防止するため、<u>14（海の豊かさを守ろう）</u>を追記します。</p> <p>【1-5 上下水道】</p> <p>水道水を供給しているため、<u>12（つくる責任つかう責任）</u>を追記し、その変わり、持続可能なインフラを整備する意図で記載している <u>9（産業と技術革新の基盤をつくろう）</u>を削除します。</p> <p>【2-1 学校教育】</p> <p>ジェンダー平等を意識した教育を提供するため、<u>5（ジェンダー平等を実現しよう）</u>を追記します。</p> <p>【4-3 地域福祉、4-5 障害児・者福祉】</p> <p>「4-4 高齢者福祉」と同様に、<u>3（すべての人に健康と福祉を）</u>と <u>11（住み続けられるまちづくりを）</u>を追記します。</p> <p>【4-6 防災】</p>

意見	修正案等
	<p>災害時においても安全な水と適切な衛生環境を確保するため、<u>6（安全な水とトイレを世界中に）</u>を追記します。</p> <p>【マネジメント方針】</p> <p>本市が「住み続けたい」と思ってもらえるようなまちづくりを進めるため、<u>11（住み続けられるまちづくりを）</u>を追記します。</p>
<p>「(4)戦略的な情報の発信・収集」の①の主な取組で「住みたい、住み続けたい、訪れてみたい」と記載しているが、刈谷市には通勤や通学で訪れる人も多数いるので、そういった人も含まれる表現になると良い。</p>	<p>①の取組は定住の促進と市民の郷土に対する愛着の醸成を図ることを目的としたものになりますので、通勤等で訪れる方を含めることは主旨から逸れてしまいます。</p> <p>「働きたい」、「働き続けたい」という視点は、重点戦略2（魅力ある働く場の創出）における取組の推進を図る中で踏まえることとしています。</p>
<p>「(3)多様な主体との連携」の主な取組のうち、①の中で「公共私」とは何を指すのか。また、「地域コミュニティ」が何を指すのか分からない。②と③が比較的具体的な内容を記載しているので、そことのレベルを合わせた方が良い。</p>	<p>「公共私」とは、行政の「公」、NPOなどの「共」、事業者などの「私」を指します。また、ご意見を踏まえ、①の説明文を「<u>公共私</u>が連携・協働するためのネットワークを形成し、<u>自治会を始めとした地域コミュニティ組織を支援することで、持続可能な地域社会の実現をめざします。</u>」に修正します。この意図としましては、都市部では、自治会の加入率も低下しており、</p>

意見	修正案等
	<p>地域社会における住民自治の持続可能性が危ぶまれている中で、住民自治を補完するものとして、「共」と「私」が連携することは重要であると認識しており、①では、そのための体制を構築することが求められていることを、②では、そのネットワークを活用して地域課題を解決し、地域の価値を高めることを意図しています。</p>
<p>「(3)多様な主体との連携」の主な取組のうち、②の中で地域課題の解決をめざすためには、「大学」に限定しなくても「高校」もあり得ると考える。</p>	<p>ご意見や前述の意図を踏まえ、②の説明文を「<u>市、地域コミュニティ組織、NPO、事業者、学生などの多様な主体が相互にネットワークを活用し、課題の解決を目指すとともに、地域の特徴や強みをいかして地域の価値を高めます。</u>」に修正します。</p>
<p>「(3)多様な主体との連携」の主な取組のうち、③の中で「経営資源の合理化」と記載されているが、これは、住民サービスの維持向上という目的を達成するための手段であり、並列に語られるものではないと考える。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「<u>衣浦定住自立圏域を始めとした各自治体と連携し、「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」といった経営資源の合理化を図ることで、住民サービスの維持向上をめざします。</u>」に修正します。</p>

【第3分科会（福祉安心）】

● 4-1 子育て支援

意見	修正案等
<p>「412 幼児教育・保育の充実」③に「待機児童の解消」と書いてあるが、現状ゼロで目標値もゼロである。実質的に何を充実させるのか。「すべての子どもが保育サービスに繋がれるよう柔軟な対応を図る」という文言はどうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「保育ニーズを踏まえながら、保育園・幼稚園の<u>受入体制の充実</u>に努め、待機児童の解消」に修正します。</p>
<p>「415 支援が必要な子ども・家庭への支援」③の説明文中の「自立促進を図ります」は馴染まないように感じる。</p>	<p>ご意見を踏まえ、説明文を「～、日常生活への支援などを行います。」に修正します。</p>

● 4-3 地域福祉

意見	修正案等
<p>KPI のうち、「地域福祉に関するボランティア活動に参加している市民の割合」の「地域福祉に関するボランティア」が分かりにくいと感じる。実際の市民意識調査のように例示を交えると良い。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「<u>高齢者や障害者への支援など地域福祉に関するボランティア活動に参加している市民の割合</u>」に修正します。</p>
<p>「431 福祉の心の醸成」②の中に、「福祉教育の充実を図る」という文言を加えてはどうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、説明文を「～、生涯学習の場を通して、<u>福祉教育の充実を図り、子どもの頃から～</u>」に修正します。</p>

意見	修正案等
<p>ヤングケアラーやダブルケアラーなどのケアラー支援を入れてはどうか。</p>	<p>ご意見や議会からの意見を踏まえ、「4-1 子育て支援」の「415 支援が必要な子ども・家庭への支援」②を「<u>児童虐待やヤングケアラー等に関する～</u>」に修正します。</p> <p>なお、ダブルケアラーは、今後、調査研究を進めていきます。</p>
<p>「434 生活困窮者への支援」①には、就労支援のほかにも、家計改善支援や就労訓練支援、就労意欲喚起支援などがあるので、就労支援を代表的な例示として挙げると、これに特化したように受け止めてしまうため、「包括的支援」に変更した方が良い。</p> <p>なお、「包括的支援」には、②の後段（保護者に対する生活支援）が含まれることになる。</p>	<p>ご意見を踏まえ、①の説明文を「生活困窮者に対して、個々の状況に応じた就労支援などにより、<u>包括的な支援を進めます。</u>」に、②の説明文を「子どもへの学習支援を通じて学習習慣の定着や基礎学力の向上を図ります。」に修正します。</p>

● 4-4 高齢者福祉

意見	修正案等
<p>「441 高齢者の社会参加・生きがいづくり」の中に、「居場所づくり」や「地域への参加」という文言を加えてはどうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、②の説明文を「～、健康を維持しながら生きがいを持って生活できる環境づくりや、<u>地域の中での居場所づくり</u>を支援するとともに、～」に修正します。</p>

● 4-6 防災

意見	修正案等
<p>地域力を高める上での一つの視点として防災を捉え、位置付けることはできないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「連携・協働の考え方」の説明文を「～、市民の防災意識の高揚や地域防災力の強化を図り、市民や地域、自主防災組織、ボランティア団体などの各主体が連携<u>すること</u>で、<u>地域力を高め、災害による被害の軽減をめざします。</u>」に修正します。</p>

● 4-7 生活安全

意見	修正案等
<p>市民相談は土日夜間も受け付けているのか。また、市民相談に DV や女性に関する相談が含まれているのであれば、それらを明記しても良いのではないか。</p> <p>加えて、市民相談がどういったものなのかを読み手がイメージできるように例示を交えて説明した方が良い。</p>	<p>本市では、土日夜間における相談にも対応しています。また、市民相談は相談内容を限定していないので、あえて、DV や女性などの相談の項目を明記していません。</p> <p>また、ご意見を踏まえ、「473 市民相談の充実」①を次のとおり修正します。</p> <p><u>「日常生活の問題や女性の悩みごとなどの相談内容に応じ、経験を有する相談員が適切な対応に努めるとともに、弁護士や司法書士などの専門家や、消費生活センターなどの関係機関と連携を密にし、相談体制の充実を図ります。」</u></p>